

JBMS

電子パブリッシングシステム用語

JBMS—42—1992
(2013 確認)

平成4年3月改正

社団法人 日本事務機械工業会

電子パブリッシングシステム部会仕様書・用語分科会委員構成表

(分科会長)	武田 浩 良	三菱電機株式会社
	高田 俊 幸	株式会社 リコー
	小谷 靖 恵	富士通株式会社
	恒 成 知 生	キャノン株式会社
	宮 元 健 次	松下電器産業株式会社
	佐々木 一 郎	ブラザー工業株式会社
	沢 田 一 夫	株式会社 東 芝
	林 勝 義	理想科学工業株式会社
	坂 東 達 夫	松下電送株式会社
	川 井 正 幸	富士ゼロックス株式会社
	折 田 三千男	三菱電機株式会社
(事務局)	林 文美雄	(社)日本事務機械工業会
	高 橋 厚	(社)日本事務機械工業会

標準化委員会 JBMS 推進小委員会委員構成表

(委員長)	山 本 直 三	株式会社 東 芝
	駒 田 順 二	キャノン株式会社
	石 渡 永三郎	株式会社 リコー
	角 谷 恒 彦	シャープ株式会社
	平 林 次 夫	コニカ株式会社
	正 木 一 基	松下電器産業株式会社
	東 原 利 雄	カシオ計算機株式会社
	山 下 充 夫	株式会社 東 芝
	森 下 四 郎	三田工業株式会社
	妹 尾 三 郎	日本アイビーエム株式会社
	諏訪間 祥 堯	富士写真フイルム株式会社
	清 水 彰	日本電気株式会社
	瀬 底 信 一	富士ゼロックス株式会社
	山 本 一 男	東京電気株式会社
(事務局)	桐 谷 俊 雄	社団法人 日本事務機械工業会

規格番号： JBMS-42

制定年月日： 昭和63年4月1日(原案：昭和62年度OA機器標準化調査研究委員会・用語仕様分科会)

改 正： 平成4年3月20日

原案作成： 電子パブリッシング部会

審 議： (社)日本事務機械工業会 標準化委員会(JBMS推進小委員会)

制 定： (社)日本事務機械工業会

この規格についての意見又は質問は社団法人 日本事務機械工業会 技術部へ御願ひ致します。

〒105 東京都港区西新橋1-12-1 第1森ビル Tel 03-3503-9821

1. 適用範囲 この規格は、主として事務用に用いる電子パブリッシングシステムに関する用語及びその意味について設定する。
2. 分類 用語の分類は次のとおりとする。
 - (1) ユーザシステムインタフェース
 - (2) 文字入力
 - (3) イメージ入力
 - (a) 入力
 - (b) 処理
 - (4) 図形入力
 - (a) 入力
 - (b) 処理
 - (5) 表・グラフ作成
 - (6) 編集
 - (a) レイアウト
 - (b) 組版
 - (c) 欧文、表組み、特殊処理
 - (d) その他
 - (7) 印刷
 - (8) コード体系
 - (9) フォント
 - (10) データ交換
3. 用語及び意味 用語及び意味は次のとおりとする。

なお、ここで使用する記号等の意味は以下のとおりとする。

 - ① 用語の一部が () でかこまれている場合は、その部分を省略してもよいことを表す。
この場合は () 内を省略したときと省略しないときの間に優先順位はない。
 - ② 用語欄に [] がある場合は、略語や読みなどを示す。
 - ③ 用語欄に { } がある場合は、言いかえを示す。
 - ④ 対応英語欄に二つ以上あり、その先頭が同じものは、対応英語がいずれでもよいことを示す。

関連規格	J I S	B 0 1 1 7	事務機械用語
	J I S	B 0 1 9 1	日本語ワードプロセッサ用語
	JBMS-34		OAシステム用語
	JBMS-43		電子パブリッシングシステム仕様書様式

(1) ユーザ・システムインタフェース

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
1000	アイコン	アプリケーションまたは作業を表わす表示画面上のグラフィックシンボル。	icon
1001	プルダウンメニュー	コマンド項目の選択によって、画面上に引出される詳細コマンドリスト。	pull-down menu
1002	メニューバー	選択し得るコマンド項目を並べた矩形領域。	menu bar
1003	ウィンドウ	独立した作業空間を構成する区切られた領域。	window
1004	対話ボックス	対話形式でパラメータ、コマンドなどを入力するための矩形領域。	dialog box
1005	システム立上り時間	電源を投入してからシステム全体が使用可能になるまでの所要時間。	system rise time
1006	有効表示域	表示画面において、仕様どおりの解像度が得られる領域。	effective displaying area

(2) 文字入力

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
2000	仮名漢字変換(入力)	入力された読みを仮名漢字混じり文に変換する処理。	kana - kanji translation
2001	文字認識入力	イメージを読み取って文字として認識する方式による文字入力。	input by character recognition

(3) イメージ入力

(a) 入力

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
3100	原稿固定方式	固定された原稿に対して走査を行ない、読み取りを行う方式。本などの読み取りのためのフラットベッドにしたものが多い。	stationary document scanning type
3101	原稿移動方式	原稿を移動することによって走査を行ない、読み取る方式。ドラム型と自動給紙型がある。	moving document scanning type
3102	ハンドスキャン方式	光源とセンサの一体構造を原稿面上に手動で移動する原稿設置走査方式。	hand - scanning type
3103	カメラ方式	光源、センサ、センサ走査機構を原稿面から離すことによって、読み取り時の原稿モニタ、奥行きのある原稿の読み取りなどを可能にした原稿設置走査方式。	camera type

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
3104	主走査方向	走査線上の連続する画素が走査に際して進行する方向(画素パス方向)。	direction of pel path horizontal
3105	副走査方向	隣接する各走査が走査に際して進行する方向(走査線進行方向)。	direction of line progression vertical
3106	ドロップアウトカラー	イメージ入力において読み取り困難な色。	dropout color
3107	ディザ	読み取られた階調レベルを、一定の規則により算出されたしきい値と比較して対応する画素の2値レベルを決定する疑似中間調入力方式。	dither
3108	読み取り時間	読み取り要求を与えてから原稿面の走査を終了するまでの時間。	read out period
3109	変倍読み取り	モアレの発生を抑えるため、システム本体に取り込む前に、スキャナ読み取りの際に倍率を変える処理をする機能。	read out with zooming

(b) 処 理

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
3200	(イメージ) 拡大	指定したイメージを、指定した倍率で大きくすること。	expand
3201	(イメージ) 縮小	指定したイメージを、指定した倍率で小さくすること。	contract
3202	(イメージ) 複写	指定したイメージを残したまま、それを指定位置にも割り付けること。	copy
3203	(イメージ) 移動	指定したイメージを新たな指定位置に移すこと。	move
3204	(イメージ) 合成・分割	指定した複数のイメージを1つに、又は逆に1つを複数のイメージにする処理。	merge divide
3205	対 称	指定軸に対して、指定したイメージを対称移動する処理。	mirror

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
3206	はけ塗り	任意位置に指定幅の画像パターンを書き込む処理。	brush
3207	(イメージ)塗りつぶし	閉じたイメージの内側を指定画素パターンで埋める処理。	shading
3208	格子	描画位置のガイドラインとしての一定間隔の位置を示す指標。	grid

(4) 図形入力

(a) 入力

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
4100	テンプレート	図形を描くため、システムが提供する基本的な共通図形。	template
4101	I G E S	(ANSIにより規定された) 図形ファイルの標準フォーマット	Initial Graphic Exchange Specification
4102	定規	寸法角度を示す指標。	scale
4103	レイヤ	編集の便宜のために階層的に配置した仮想平面の一つを示す。	layer

(b) 処理

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
4200	3次元処理	三角法などで描かれた平面図によって立体図を作成する処理。	3-dimension processing
4201	投影	立体図によって2次元の平面図を描く処理。	projection
4202	(図形) 複写	指定した図形を残したまま、同じ図形を指定位置にも描くこと。	copy
4203	(図形) 移動	指定した図形をその位置から新たな指定位置に移すこと。	move

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
4204	(図形)合成・分割	指定した複数の図形を1つに、又は逆に1つを複数の図形にする処理。	merge divide
4205	(図形)塗りつぶし	閉じたイメージの内側を、指定画素パターンで埋める処理。	shading
4206	(図形)解析	与えられた図形の距離、角度などを測定すること。	analyze
4207	スムージング	拡大した文字・図形の凹凸を少なくして滑らかにすること。	smoothing

(5) 表・グラフ作成

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
5000	セル	表を構成する最小単位であって、罫線によって囲まれた矩形領域。	cell
5001	ブロックセル	複数の連続したセルの矩形集合。	block cell

(6) 編集

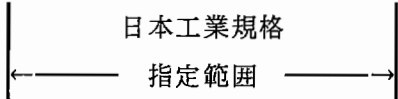
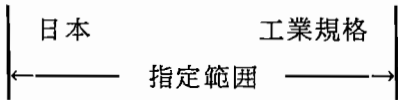
(a) レイアウト

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6100	レイアウト	表示又は印刷面における文章や図表の配置で、文字列、イメージなどをページに流し込む場所を決める操作。	layout
6101	段組	同一ページ内で文字列及び行の集合を複数段に構成すること。	multiple column
6102	段間	段と段の空き	column space
6103	本文	ページの中で、見出し、図表、注などを除く主要部分の文章。	text

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6104	小 組【こぐみ】	本文とは別にして独立して組版するもの。	box
6105	固 定 ブ ロ ッ ク	固定位置に指定された大きさでとられたブロック。	fixed block
6106	浮 動 ブ ロ ッ ク	本文の内容に付属して移動することができるブロック。	floating block
6107	キ ャ プ シ ョ ン	イラスト、写真、表につける短い解説文。	caption
6108	版 面 【はんづら、はんめん】	柱、ノンブルを除く文書内容を組む部分。	type setting area
6109	ノ ン ブ ル	ページの順序を示す数字。	pagination
6110	柱	ページの上端、下端、又は前小口に寄せて記入する著者名、書名、主要項目などの内容。	running head running foot
6111	頭 注	本文の上部につける注。	headnote
6112	脚 注	ページの下部につける注。	footnote
6113	傍 注	本文の前、小口寄りに入れる注。	sidenote
6114	後 注	本文の区分の終わり、あるいは巻末に入れる注。	endnote
6115	余 白	印刷面(ページ)の上下、左右に設けられた空白。	margin
6116	前 小 口	仕上げ裁ちされた本のとじ側と反対側の切り口。	fore edge
6117	文 字 サ イ ズ	文字外枠の大きさ。	body size
6118	行 間	隣接行の対応する文字外枠間の距離。	interline spacing

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6119	行ピッチ	行を並べる場合の行送りの量。	line pitch line spacing
6120	行長	行の長さ。	line length
6121	字詰	1行内に割り付ける基準の文字数。	number of characters on a line
6122	文字ピッチ〔字送り〕	文字を行中に並べる場合の文字送り量。	character pitch
6123	字間〔文字間隔〕	行内の隣接する文字の外枠間の距離。	character gap
6124	トンボ	位置合わせをするための目印の記号。	register mark
6125	スタイルシート	あらかじめ登録してある書式。	style sheet
6126	有効印刷領域	設定した用紙づかいに対しシステムが有効と見なす印刷領域。	effective printing area

(b) 組 版

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6200	組 版	レイアウトを行い、それに従って文字を流し込みあるいは入力して、版全体を組み立てること。	typesetting
6201	中央揃え 〔センタリング〕	あらかじめ指定された範囲(または行)の中央に、文字列の中央を配置して揃えること。 (例) 	centering
6202	両 端 揃 え	指定された範囲または行の両端に、それぞれ指定された文字列を配置して揃えること。 (例) 	biliteral justification

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6203	均等揃え	指定された範囲または行に、文字列を均等に位置して揃えること。 (例) 	justification equal spaced justification
6204	右揃え	指定された範囲(または行)の右端に文字列を配置して揃えること。 (例) 	flush right left justification
6205	左揃え	指定された範囲または行の左端に文字列を配置して揃えること。 (例) 	flush left left justification
6206	特定文字位置揃え	指定された文字を、指定された位置に揃えること。 (例) 「=」で揃える場合 $3x + 2y - 10 = 0$ $3x + 2y = 10$ $2y = 10 - 3x$	tabulation with specified character
6207	字下げ [インデント]	指定した段の行内文字の割り付けの開始位置を下げること。	indent
6208	段揃え	各段の長さを揃えること。	column alignment
6209	タブレーション	グラフや表などで文字列の頭を指定位置に揃えて、内容を見易くすること。	tabulation
6210	改行	次の行に移ること。	carrier return new line
6211	改段	新しい段に移ること。	new paragraph
6212	改ページ	次のページに移ること。	new page

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6213	改丁	章立てを必ず奇数ページまたは偶数ページから始まるようにすること。	new chapter at even (odd) page
6214	行頭禁則	行頭禁則文字が行頭にこないようにすること。	line - top folding rule
6215	行末禁則	行末禁則文字が行末にこないようにすること。	line end folding rule
6216	行頭禁則文字	「,」,「。」のように、行頭に来るべきでない文字。	object letter for line-top folding rule
6217	行末禁則文字	「(」,「)」のように、行末に来るべきでない文字。	object letter for line-end folding rule
6218	分割禁止	指定文字列が行末と行頭の2行にまたがらないようにすること。	nonbreak nondivide of lines
6219	分離禁止	指定文字間にスペースが入らないようにすること。	non carry - over
6220	文字列方向	連続する文字列の進行方向。	character path
6221	添字	指定した文字の直後に割り付けた、上付きまたは下付きの縮小文字。	superscript subscript
6222	ルビ	漢字の読み等をするすために親文字より小さく文字の上または右につく仮名。	ruby agate
6223	合成	2つの文字を合成して、1つの文字として表示すること。 (例) 「()」と「a」を合成して「(a)」	compound
6224	組み合わせ	複数の文字を組み合わせて1つの文字、記号などを表わすこと。 (例) 「「」」と「{」」と「」」を組み合わせて「{」」を表現する。	combination

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6225	上線	文字の上に引く線。 (例) 日本工業規格	upper line over line
6226	下線	文字の下に引く線。 (例) 日本工業規格	under line
6227	中線〔消し線〕	文字の中央に引く線。 (例) 日本工業規格	strike out
6228	囲み罫	枠を囲む罫線。	box
6229	罫線	文書の内容区分などを示す線。	rule line
6230	クワタ	字間のスペースを与える文字コード。	quad
6231	圏点	文字の傍らに打つ点。	emphasizing dot
6232	傍線	縦組みで文字の左または右に引く線。	side line
6233	別行見出し	専用の行をとって付ける見直し。	heading
6234	吊り見出し 〔同行見出し〕	編や章の書き出しに、書体や大きさを変えた文字を使って強調する見出し。 (例)  日本工業規格(JIS)は、工業標準化法に基づいて制定される国家規格として、生産におけるコストの低減、取引の単純公正化…	hanging header
6235	白抜き	黒地に文字を白く抜くこと。 (例) 処理前  白抜き 	reverse
6236	中抜き	輪郭のみで文字形を表現すること。 中抜き文字は袋文字ともいう。 (例) 処理前  中抜き 	outline
6237	影付き	強調などのため影を付けること。 (例) 処理前  影付き 	shadow

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6238	長体	正体文字の左右を縮める文字の変形。 (例) 処理前 印刷の未来を築く 長体 印刷の未来を築く	condensed
6239	平体	正体文字の上下方向を縮める文字の変形。 (例) 処理前 印刷の未来を築く 平体 印刷の未来を築く	expanded
6240	斜体	正体文字を斜めに傾ける文字の変形。 (例) 処理前 印刷の未来を築く 斜体 印刷の未来を築く	sloping
6241	回転	ある1点を基点として、パターンを回転させること。 (例) 処理前 印刷の未来を築く 回転 印刷の未来を築く	rotation
6242	割注	1行に対して複数行に割って入る注。	in - line note

(c) 欧文、表組み、特殊処理

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6300	ハイフネーション	単語の分割ルールに従ってハイフオンを入れて区切ること。	hyphenation
6301	ジャスティフィケーション	単語間の文字間を可変にし、各行の両端を合わせてバランスよく配置すること。	justification
6302	カーニング [ペアワイズカーニング]	単語内の特定の組み合わせ文字間を、組み込み処理を行なって配置すること。	kerning [pairwise kerning]
6303	プロポーションアル スペーシング	文字と文字の間隔をバランスよく調整すること。	proportional spacing
6304	合字	2つあるいはそれ以上の文字列を、同じ意味のまま1つのシンボルとして表記するもの。	ligature
6305	数式・化学式	特殊なシンボルを扱う数式・化学式の表現。	mathematical/ chemical formula

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6306	透 明	ブロックとそれ以外の領域を、透明に重ね合わせる こと。	transparent
6307	不 透 明	ブロックとそれ以外の領域を、不透明に重ね合わせる こと。	opaque
6308	ブ ロ ッ ク 編 集	領域指定された範囲内で編集すること。 ブロックを単位とする編集処理であり、移動、削除 複写、拡大、縮小などがある。	block editing
6309	表 組 み	表の作成、編集を行ない、罫線で囲まれた区画の文 字編集をすること。	tabular composition
6310	罫 線 優 先 指 定	表の罫線の位置に応じて、文字列の配置を調整する こと。	adjustment of tabular line
6311	文 字 列 優 先 指 定	表の文字列に応じて、罫線の位置を調整すること。	adjustment of tabular text
6312	縦 文 字 欧 文 機 能	縦組みの場合に、欧文文字を縦書きで表示印刷する 機能。	vertical representation of Latin characters
6313	ワ ー ド ラ ッ プ	欧文組版で単語の切れ目またはハイフンの直後で自 動改行する機能。	word wrap
6314	角 丸	四角形などの角を丸くしたもの。	round corner
6315	縦 中 横	縦組文書中の行内の一部分の横組方向に組むこと。 (例) 縦組 昭 縦中横 昭 和 和 6 62 2 年 年	horizontal in vertical
6316	回 転 横 組	縦組文書中の行内の一部分の文字を90度回転したよ うに組むこと。 (例) 縦組 五 回転横組 五 月 月 は は “ “ M May a y ”	rotated in vertical

(d) その他

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6400	拡大(表示)	編集のためにページのある部分、あるいは全体を拡大すること。	magnify
6401	縮小(表示)	編集のためにページのある部分、あるいは全体を縮小すること。	reduce
6402	制御記号表示	改行、改段、改ページ、タブなどの制御信号を表示すること。	display of control symbol
6403	ページ表示	編集時に必要なページを表示すること。文頭表示、指示ページ表示、文末表示などがある。	display of page
6404	格子表示	編集位置範囲を格子状に表示すること。	display of grid
6405	差し込み機能	文書の指定部分にあらかじめ用意した差し込み内容を挿入する機能。	insertion
6406	差し込み内容	主文書とは別にあらかじめ用意した挿入用テキスト。	inserting text
6407	フォームオーバーレイ	特定のフォームを印刷時に重ね合わせる機能。	form overlapping
6408	目次自動生成	文書内容から目次を自動作成すること。	automatic generation of table of contents
6409	索引自動生成	文書内容から索引項目に応じた索引を自動作成すること。	automatic indexing
6410	文字数表示	文書内あるいはページ内の総文字数を表示すること。	display of number of all characters contained
6411	メジャー表示	画面に物差しを表示すること。	measure
6412	見開き編集	製本した状態で開いたときの左右2頁を画面に表示し編集すること。	working on facing pages

(7) 印 刷

番号	用 語	用 語 の 意 味	対応英語 (参考)
7000	並 行 印 字	入力、編集処理と同時に別ファイルの印刷を行うこと。	background printing concurrent printing
7001	ファーストプリント 時 間	印刷開始指示から最初のページが排出されるまでの時間。	first print time
7002	レジストレーション	データ内容位置と実際の用紙上の出力位置との差異。	registration
7003	面 付 印 刷	折って綴じた時にページ順に揃うように配置して印刷すること。	in position

(8) コード体系

番号	用 語	用 語 の 意 味	対応英語 (参考)
8000	EUC 〔拡張UNIX コード〕	オペレーティングシステムUNIX system Vのコードを日本語や韓国語、中国語などの複数バイト系に対応させるために拡張したコード系。	Extended UNIX Code

(9) フォント

番号	用 語	用 語 の 意 味	対応英語 (参考)
9000	フ ォ ン ト	同一のサイズとデザインを持つ文字のセット。	font
9001	ビットマップ フォント	画素の集合として文字の形を表すフォントのデータ形式。	bitmap font
9002	アウトライン フォント	文字輪郭線を表すデータとして記憶したフォントのデータ形式。	outline font
9003	ストロークフォント	骨格線だけの文字データとして記憶したフォントのデータ形式。	stroke font
9004	書 体	表示・表記するための文字、記号を特徴づけている意匠。	typeface

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
9005	文字外枠	文字を囲む方形の枠。 フォントのデザインの基準となる。	body
9006	文字サイズ	全角文字の外枠の大きさ。	body size
9007	約物【やくもの】	編集上の規則が適用される記号類。	marks and signs on editorial rule
9008	ルビ文字	ルビに使う文字。	ruby
9009	ポイント	文字の大きさの単位 (1ポイント=1/72.27 inch)。	point
9010	級	文字の大きさの単位 (1級=0.25mm)。	Q

(10) データ交換

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
10000	データ交換	異なるシステム間でデータを受け渡すこと。	data interchange data exchange
10001	標準汎用 マーク付け言語 【SGML】	記述的なマーク付けにより、文書の構造を示すメタ言語。	Standard Generalized Markup Language
10002	文書組版指示言語 【DSSSL】	SGML文書とリンクして、そのレイアウト指示を与える記述言語。	Document Style Semantics and Specification Language
10003	標準ページ記述言語 【SPDL】	レイアウト付けされたページ内容またはシート上の各ページ構成を記述する言語。	Standard Page Description Language

電子パブリッシングシステム用語・解説

最近の科学技術の進歩は著しく、OA機器の分野において各種の便利な新製品が開発され、国内外の各社で事務機械のOA化が推進されている。

事務機を主とするOA機器は、機能面でも質的に著しく進展している最中であり、ますます複雑化する傾向にある。

それだけに、この時点でまず用語関係について、概念、用語の意味などを整備しておくことは、標準化にとって重要と考え、この規格を制定するに至ったものである。

1. 規格化の経緯

日本語ワードプロセッサの普及により、文書作成の機械化が一般化し、より豊富な編集機能とより高品位な印字画像品質への要求が高まっている。これに応えるように、レーザービームプリンタ、高解像度ディスプレイの低価格化、高機能プロセッサの普及を背景として、各種の電子パブリッシングシステムが発売され、今後の発展が期待されている。

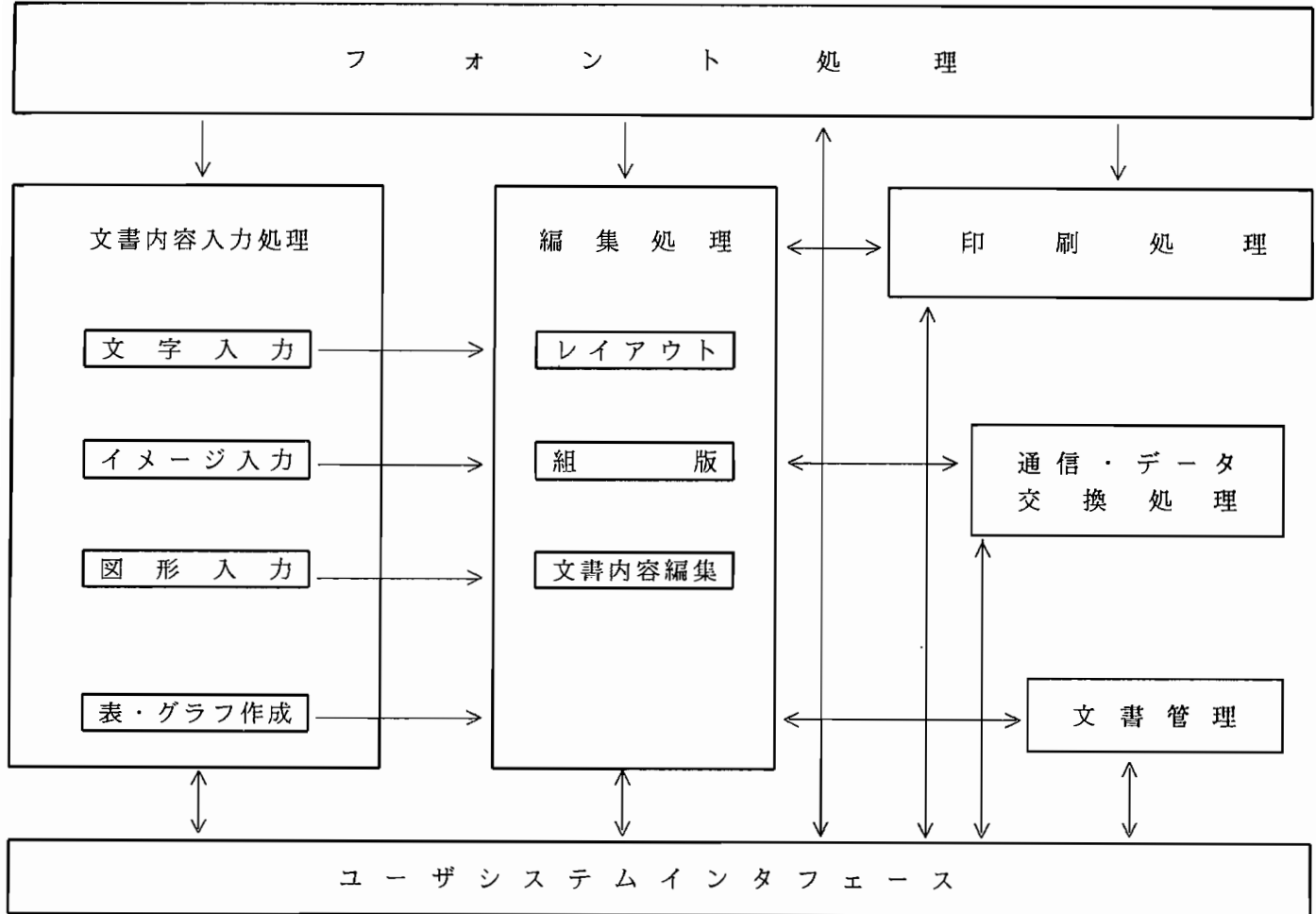
しかし、これらの電子パブリッシングシステムにおいては、仕様の比較検討などのためには、用語を明確にしておく必要がある。電子パブリッシングシステム用語と仕様書様式（推奨性能表現）については昭和63年に日本事務機械工業会規格化された。これは、電子パブリッシング部会が出来たのに伴い、新たに見直しを行い改正したものである。

2. 規格の概要

電子パブリッシングシステムを検討するに際し、電算写植機のような専門家向けのシステムと、これまで標準化を行ってきた日本語ワードプロセッサとを除き、機能の面で両者の中間に位置する文書作成装置に対象を限定した。しかしこの電子パブリッシングシステムと対象外のシステムとの境界はもとより正確ではなく、年々変化する。そこであえてこの境界を明示することを避け、境界領域の技術をも含むことを前提として、電子パブリッシングシステムの記述に必要な用語を作成した。

規格作成にあたり、電子パブリッシングシステムで行なわれる処理を図のようにモデル化し、主としてその構成要素に対応して、関連する用語の抽出を行ない、さらに別途仕様書様式を定めたものである。この図の処理モデルでは、通常のワードプロセッサに比べて編集処理の内容、特にレイアウト処理と組版処理の内容が大規模になっている。

文書内容入力処理は、文字入力、イメージ（ラスタグラフィックイメージ）入力、図形（ジオメトリックグラフィックイメージ）入力、表・グラフ作成に区分され、それぞれのデータ形式での入力処理と、そのデータブロック内容に対する編集処理とが実行される。フォント処理は、高品位文書に必要な各種フォントのデータファイルをアクセスして、文書内容入力処理、印刷処理、ユーザシステムインタフェースにフォントデータを提供する。通信メディアまたはパッケージメディアを介した他システムとの文書交換は、通信・データ交換処理により行なわれる。



電子パブリッシングシステムの処理モデル

この処理モデルでは、明示的に表示されていないが、電子パブリッシングシステムを記述するために重要なハードウェアとコード体系についてはそれぞれ項を設けて用語を規定した。

電子パブリッシングシステムを記述するために、意味を規定し標準化する必要があると判断される用語を、ユーザシステムインタフェース、文字入力、イメージ入力、図形入力、表・グラフ作成、編集、印刷コード体系、フォント、データ交換の各項目に関して選択し、定義を与えるとともに参考として対応英語を示した。特にまぎらわしい読みを持つ用語については、用語の欄に併記してある。

電子パブリッシングシステムにおいては編集が中心的処理になり、従って用語も編集関連が最も多い。そこで編集用語を系統的に整理し、それに対応した用語のまとめを行なった。

用語の調査検討に際し、ワードプロセッサ業界、印刷業界、ISOなどの間で定義、英語表現に関して差異のある用語の存在が認められ、個々に検討して決定した。基準として、既に発表されている電子パブリッシングシステムでの採用例を用いた。その結果、印刷業界の定義または英語表現に近い決定を与えた用語が多い。業界での慣用的な英語表現と日本語ワードプロセッサなどに関するJISでの英語表現とが異なる場合もあるが、ISOで使われているものに合わせた。(日本語ワードプロセッサは、ほとんど輸出もなく英語が実際に使用されることがないからである。)

「日本語ワードプロセッサ用語」などの既にある規格と意味・表現を異にする用語もあるが、ここでは電子パブリッシングシステムの立場から用語の抽出と意味づけを行なった。電子パブリッシングは主として街の印刷屋など簡易印刷分野で多く使われており、印刷分野で使う難解な専門用語が多く、これを一般素人が多く使い、機能も簡単な日本語ワードプロセッサにすべて合わせてしまうことは無理があり、たとえ合わせたとしても受け入れられることは疑問であるという意見からである。

なお、国際標準化については、ISO/IEC JTC1/SC18/WG3、WG5、WG8が、電子パブリッシングシステムで扱われるような文書に関する標準化作業を行っており、特にWG8の作業項目であるSGML、SPDL、DSSSL、フォント・文字情報交換の動向が、電子パブリッシングシステムに密接に関係している。SGMLはISO8879としてすでに標準化されているが、日本語化への検討が課題になっている。これらに対して、できる限り整合をとった。

なお、ワードプロセッサと電子パブリッシングは、使われている業界が若干異なるため、用語が同じでもニュアンスが若干異なるため、基本的には整合に配慮しつつも、同じにするとかえって不都合が考えられるものについては、特に正確に合わせることは差し控えることとした。(例) 字下げ [インデント]

日本事務機械工業会規格 (JBMS) リスト

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 複写機用語 | 32 電子写真式
ノンインパクトプリンタ用カットシート用紙 |
| 2 加算機のキー表示記号及び印字記号 (廃止) | 33 静電複写機用周辺機器の仕様書様式 |
| 3 テンキー式計算機械のキー配列 | 34 OA システム用語 |
| 4 電卓のキー記号及印字記号 | 35 ページプリンタの仕様書様式 |
| 5 加算機用語 | 36 プリンタのハードウェアインターフェース |
| 6 用語規格の作成基準 | 37 電子式欧文タイプライタ用語 |
| 7 電動加算機の仕様書様式 (廃止) | 38 IC カード |
| 8 静電複写機の仕様書様式 | 39 光メモリカード |
| 9 表示式電卓のキー記号 (廃止) | 40 イメージスキャナインタフェース |
| 10 液体及謄写印刷の仕様書様式 | 41 ページプリンタの標準テストパターン |
| 11 液体印刷機及謄写印刷機用語 | 42 電子編集印刷システム用語 |
| 12 事務機械に関する絵文字表示 | 43 電子編集印刷システム仕様書様式 |
| 13 オフセット印刷機用語 | 44 光ディスクファイリングシステム仕様書様式 |
| 14 オフセット印刷機の仕様書様式 | 45 事務機械の名称 |
| 15 電動加算機の性能試験方式 (廃止) | 46 タイムレコーダ性能試験方法 |
| 16 文書細断機用語 | 47 イメージプリンタのエンジン
—— コントローラ間インタフェース |
| 17 シュレッダの仕様書様式 | 48 光ディスクファイリングシステム用語 |
| 18 電子式金銭登録機用語 | 49 イメージスキャナ用語 |
| 19 静電複写機性能試験方法 | 50 ページプリンタ用語 |
| 20 フルカラー複写機用テストチャート | 51 電子タイプライタ系キーボードのキー配列 |
| 21 液体及び謄写印刷機の性能試験方法 | 52 日本語ワードプロセッサ通則 |
| 22 オフセット印刷機の性能試験方法 | 53 クレジットカードの試験方法 |
| 23 電子式金銭登録機の仕様書様式 | 54 SCSI 装置用汎用入出力インタフェースの一般仕様 |
| 24 日本語ワードプロセッサ用語 | 55 磁気ストライプ付きカード |
| 25 間接静電複写機用語 | 56 カード及びカードシステム用語 |
| 26 事務用オフセット印刷機及び
謄写印刷機用テストチャートの仕様 | 57 カード及びリードライタ仕様書様式 |
| 27 日本事務機械工業会規格の作成基準 | 58 ID カード通則 |
| 28 タイムレコーダーの仕様書様式 | 59 間接静電複写機用カット紙の仕様書様式 |
| 29 電卓試験方法 | 60 イメージプリンタインタフェース |
| 30 日本語ワードプロセッサの仕様書様式 | 61 ポータブル型日本語ワードプロセッサ
性能試験方法 |
| 31 電子写真式ノンインパクトプリンタ用連続用紙 | 62 シュレッダ性能試験方法 |